

基本方針1 家庭系ごみを減らす3R運動の推進と三者協働

① 制度の周知と分別の徹底

(1) 情報提供の充実

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
サイチョプレス発行	年 5 回 (278,000 部/回)	年 5 回 (272,000 部/回)	年 6 回 (272,000 部/回)
ごみ分別アプリの公開	ダウンロード数 11,301 件 (平成 27 年度末累計)	ダウンロード数 16,786 件 (平成 28 年度末累計)	ダウンロード数 26,126 件 (平成 29 年度末累計)
ごみ減量検定の実施	応募数 2,520 人 合格率 90.8%	応募数 2,634 人 合格率 88.1%	応募数 2,058 人 合格率 92.9%
ごみの出し方よろず相談所「ナジラテ屋」	出展回数 5 回	出展回数 5 回	出展回数 5 回

(2) 高齢者、単身世帯、転入者などへの対応

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
「ごみの正しい出し方パンフレット」の配布	約 410 部	約 2,630 部	約 1,940 部
共同住宅者向けチラシの配布	—	323 カ所 17,721 部	2,441 カ所 374,470 部
大学生・専門学校生向け説明会	44 回 3,886 人	33 回 3,369 人	27 回 2,845 人

(3) 雑紙、プラスチック製容器包装の分別推進

(4) ごみ分別制度の全市統一に向けた理解の促進

<巻広域地区>

- 平成 24 年度 プラマーク容器包装の分別開始
- 平成 28 年度～ 普通ごみ分別モデル収集を実施
- 平成 30 年度 普通ごみを燃やすごみと燃やさないごみに分別を変更し、10 種 13 分別に統一

② 意識啓発・環境教育の推進

(1) 幅広い年齢層への環境教育の充実

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
未就学児・小学校低学年向け出前授業実施	54 施設 3,489 人	49 施設 3,083 人	62 施設 3,415 人
小学 4 年生向け副読本作成・配布※	113 校 7,620 部	111 校 7,610 部	109 校 7,125 部
小学 4 年生向け出前講座実施	42 校 2,124 人	54 校 3,112 人	50 校 2,984 人
廃棄物処理施設の見学	一般・団体 計 29,805 人	一般・団体 計 27,756 人	一般・団体 計 28,676 人

※平成 30 年度からは環境教育副読本「行動する私たち」へ内容を統合し作成。

(2) 地域における意識啓発・環境教育活動の推進

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
リユース食器普及事業	59 件 36,896 個	110 件 66,678 個	121 件 69,084 個

※平成 26～28 年度はモデル事業として実施。平成 29 年度をもって事業休止。

③ 3R・生ごみ減量の推進

(1) マイバッグ運動などリデュースの推進

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
3R 優良事業者の認定	79 事業所	85 事業所	87 事業所
マイボトルキャンペーンの実施	応募者数 1,020 件	応募者数 983 件	応募者数 1,083 件

(2) 古布・古着などのリユース推進

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
古布・古着の拠点回収	8 カ所 184t	8 カ所 177t	8 カ所 167t
リサイクル提供事業	展示数 1,584 点 申込者数 13,272 人	展示数 1,498 点 申込者数 12,421 人	展示数 2,061 点 申込者数 14,032 人

(3) 使用済小型家電等の新たなリサイクルの推進

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
使用済小型家電の拠点回収	52 カ所 20t	52 カ所 13t	52 カ所 14t

(4) 生ごみ減量・リサイクルの推進 ⇒裏面 参照

(5) 集団資源回収や拠点回収におけるリサイクルの推進

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
古紙類・古繊維の集団資源回収	30,916t	29,630t	28,299t
古紙の拠点回収	849t	831t	805t

④ 市民・事業者・市の協働した体制づくり

(1) クリーンにいがた推進員制度の充実

(各年度末時点)

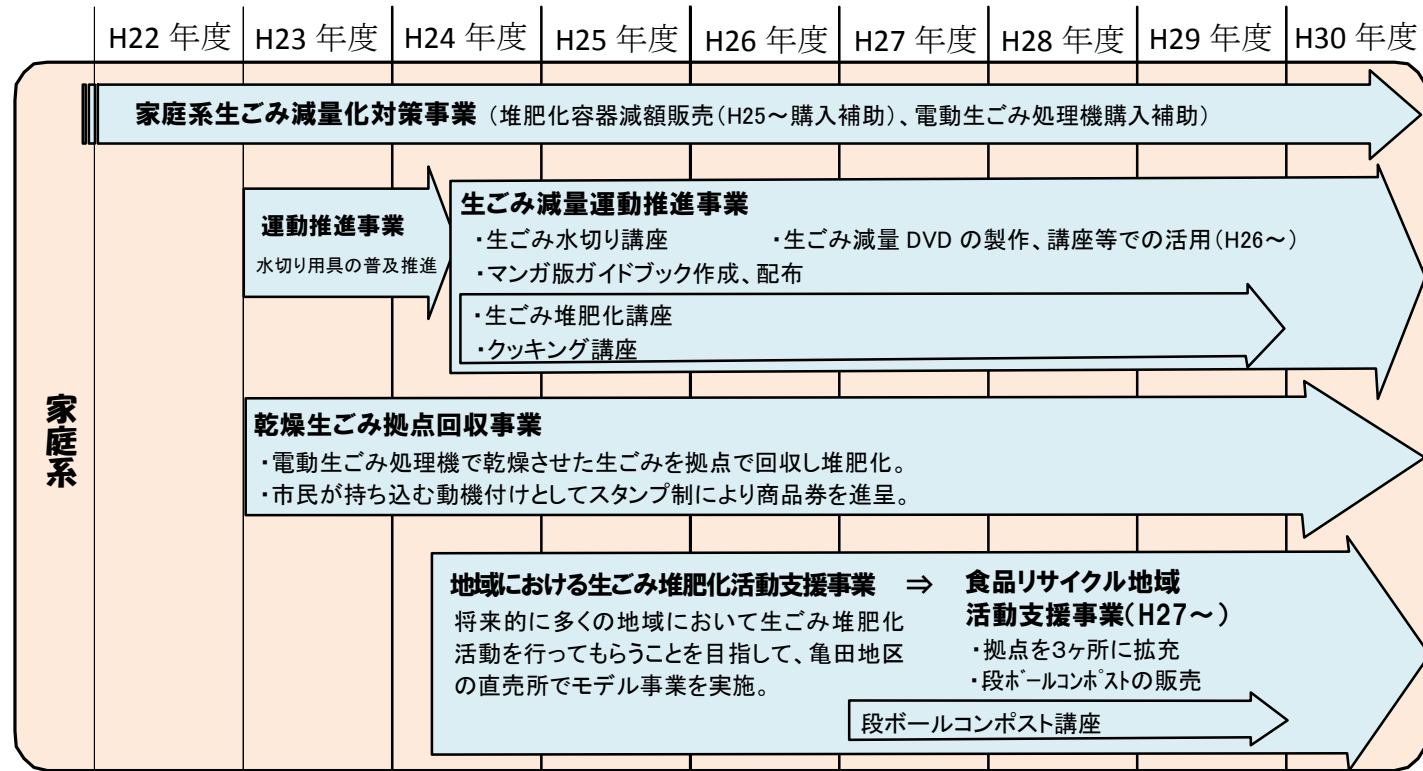
項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
クリーンにいがた推進員	5,732 人 (1,783 団体)	5,806 人 (1,799 団体)	5,803 人 (1,800 団体)

(2) 三者協働による推進体制の整備

- マイボトルキャンペーン (再掲)
- 3R 優良事業者認定制度 (後述)

# 生ごみ減量・リサイクルの推進について

## 【生ごみ減量対策事業の実施状況】



### ■ 地域における生ごみ堆肥化活動（食品リサイクル地域活動支援事業）

地域で生ごみの循環ループを構築することを目的に、平成24年度から江南区の直売所に生ごみ処理機を設置し、堆肥化するモデル事業を行ってきた。平成27年7月に2ヶ所（南区・西蒲区）増設し、地域での生ごみ堆肥化活動を推進している。

年度		江南区	南区	西蒲区	合計
27年度	生ごみ回収量(kg)	2,724	330	1,833	4,887
	会員数(人)	83	16	40	139
28年度	生ごみ回収量(kg)	2,566	319	942	3,827
	会員数(人)	90	20	41	151
29年度	生ごみ回収量(kg)	2,955	328	940	4,223
	会員数(人)	108	22	43	173
30年度(10月末)	生ごみ回収量(kg)	1,700	203	520	2,424
	会員数(人)	117	25	49	191



【処理機内の生ごみ】



【会員証】

### ■ 生ごみ減量運動推進事業

市民一人ひとりが自らのライフスタイルに合った方法で生ごみ減量に取り組めるよう、各種講座を開催するとともに、様々な減量方法を紹介するマンガ版ガイドブックを出前講座やイベント時に配布した。また、生ごみ減量DVDは、図書館等で貸し出しを行っている。

年度	開催講座	
27年度	生ごみ水切り講座	61名 (2回)
	生ごみ堆肥化講座	30名 (2回)
	クッキング講座	46名 (2回)
		計 137名
28年度	生ごみ水切り講座	119名 (4回)
	生ごみ堆肥化講座	20名 (1回)
	クッキング講座	30名 (1回)
		計 169名
29年度	生ごみ水切り講座	40名 (4回)
	生ごみ堆肥化講座	33名 (1回)
	クッキング講座	32名 (1回)
		計 105名



【生ごみ減量DVD画面】

※生ごみ堆肥化講座及びクッキング講座は平成29年度をもって休止

### ■ 生ごみ処理機器の購入費補助（家庭系生ごみ減量化対策費）

家庭から排出される生ごみの減量及び資源化を促進するとともに、ごみ問題に対する市民意識の高揚を図るため、家庭用生ごみ処理器の購入者に対し、補助金を交付している。

年度	コンポスト容器(基)	EMボカシ容器(基)	電動生ごみ処理機(機)	計
27年度	91	58	53	202
28年度	68	61	59	188
29年度	54	41	51	146
30年度(10月末)	21	24	43	88



電動生ごみ処理機



EMボカシ容器 コンポスト容器

### ■ 段ボールコンポストの普及（食品リサイクル地域活動支援事業）

家庭で手軽にできる生ごみ資源化手法のひとつとして、市オリジナル段ボールコンポスト「サイチョのマジックダンボール」を製作し、平成27年10月から販売開始。また、市民への普及を目指し、使い方講座を開催した。

年度	販売数		講座	
	セット	基材のみ	開催数	参加人数
27年度	240	—	13	200
28年度	458	66	12	172
29年度	509	90	12	104
30年度(10月末)	255	84	—	—



【コンポストセット】

※講座は平成30年度より資源再生センター（エコプラザ）の指定管理事業として実施

### ■ 乾燥生ごみ拠点回収事業

電動生ごみ処理機の普及を図るため、市内9か所の拠点で乾燥生ごみを回収、市施設で堆肥化を行い、できた堆肥は希望者に無料配布している。

回収した乾燥生ごみの重量に応じていがた未来ポイント又はスタンプを付与、スタンプを20個ためると後日新潟市・佐渡市共通商品券を進呈している。

年度	回収量 (kg)
27年度	3,596
28年度	3,487
29年度	3,328
30年度(10月末)	1,773



【パンフレットとスタンプカード】